

報道関係各位

プレスリリース

2026年3月17日
株式会社 Liberaware

千葉市消防局が狭小空間点検ドローン「IBIS2」をレンタル導入 ～CBRNE テロ災害対処訓練に投入し、 隊員の進入前に内部状況のリアルタイム把握を実現～

株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役：関 弘圭、以下「当社」）は、千葉市が実施する「トライアル発注認定事業」に基づき、千葉市消防局に狭小空間点検ドローン「IBIS2」（以下「IBIS2」）をレンタル導入いただきました。

千葉市消防局では、導入以来、日々の救助訓練等において継続的に IBIS2 を活用されております。

このたび 2026 年 2 月 24 日に実施された「2025 年度 第 10 回 CBRNE テロ災害対処千葉連携研修会 実働訓練」においても、導入された「IBIS2」を活用した現場状況の確認・情報収集が行われましたことをご知らせいたします。



画像：「CBRNE テロ災害対処千葉連携研修会 実働訓練」にて負傷者と犯人、ならびに現場状況確認に使用されている「IBIS2」

■導入の経緯

千葉市が主催する「トライアル発注認定事業」において、「IBIS2」の技術力が評価され、2024年11月25日に認定を受けました。本認定により、当社製品は認定期間中、競争入札によらず千葉市との随意契約が可能となっております。この制度を活用し、千葉市消防局における救助訓練への活用および、今後発生し得る災害現場での迅速な人命救助を目的として、「IBIS2」のレンタル導入に至りました。

■導入の目的と「IBIS2」の使い道

消防・救助現場において、隊員が危険な閉鎖空間に進入する前に、「IBIS2」を先行して投入することで「現場状況の事前確認」を行います。これにより、二次災害の防止と迅速な救助活動の両立を図ります。

- ・日常的な各種救助訓練、及び実際の災害現場における人命救助への活用
- ・有毒ガスや爆発のリスクがある現場等、隊員が進入する前の内部状況確認
- ・前進指揮所から現場の内部状況を各部隊ヘリアルタイムに共有

■「2025年度 第10回 CBRNE テロ災害対処千葉連携研修会 実働訓練」における活用内容

2026年2月24日に実施された本訓練は、商業施設等において CBRNE テロ災害（化学・生物・放射性物質・核・爆発物による災害）が発生した際の、各関係機関（警察・消防・医療等）の初動対応を検証するものです。

【訓練内容と成果】

ビル2階に不審な粉体・液体が散布された想定のもと、千葉市消防局警防課員（ドローン操縦者）が自ら「IBIS2」を操作し、隊員の進入に先立ち機体を飛行させました。前進指揮所から災害現場の内部状況をリアルタイムで動画配信し、各部隊で情報を共有。隊員の安全を確保しながら、負傷者の位置や現場の汚染状況を迅速に把握するプロセスの有効性を実証いたしました。



訓練時の様子

■今後の展望

本件のように、当社「IBIS2」が公共性の高い消防・救助の現場で導入され、現場の隊員自らの手で日常的に活用されていることは、当社のミッションである「誰もが安全な社会を作る」の実現に向けた重要な一歩です。

今回の千葉市消防局における活用事例を通じて得られた、現場隊員からのフィードバックや運用知見を基に、当社はハードウェア・ソフトウェア両面での改良を継続してまいります。今後も、自治体やパートナー事業者との連携を深め、災害対応におけるドローンの運用標準化を推進し、社会の安全性を高めるソリューションを提供してまいります。

▼株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。

会社名：株式会社 Liberaware (リベラウェア)

代表者：関弘圭 (ミン・ホンキュ)

所在地：千葉県千葉市中央区中央 3-3-1

設立：2016年8月22日

事業内容：

- ・ドローン事業：ドローン等を用いた調査・点検・測量サービス、自社開発のドローン等の販売・レンタルサービス
- ・デジタルツイン事業：ドローン等により取得したデータの画像処理、データ解析サービス、及び当社画像処理技術のライセンス提供
- ・ソリューション開発事業：ハードウェアからソフトウェアまで幅広いソリューションを提供する受託開発事業

URL：<https://liberaware.co.jp/>

Xアカウント：<https://x.com/liberaware>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

株式会社 Liberaware 広報：前

TEL：090-9019-9057 / 043-497-5740 MAIL:pr@liberaware.com